

取組 1 区民と区が力を合わせ安心して暮らせる地域をつくります

地域で行われる自発的な活動の自主性を尊重しながら、団体同士の顔の見えるつながりづくりや区を取組との連携を促進し、区役所をあげて区民参加と協働を積極的に進める体制を整えます。

① 区民の活動と連携して防災や防犯、防火の体制を強化します

首都直下地震の発生が切迫しているなか、平成28年熊本地震は、自分の命を自分で守り、近所の助け合いで地域を守ることがいかに重要かを示しています。

防災学習センターを拠点として、幅広い世代が防災について学べる機会を提供し、区民一人ひとりの防災意識を高め、区民防災組織や災害ボランティアなど地域での活動につなげます。

日常的な見守りを通じて災害時の協力関係が強化されるよう、区民、地域活動団体、介護事業者などとの連携を進めます。

「地域の安全は地域で協力して守る」という考え方にに基づき、町会・自治会やPTAなどの地域活動団体が行う防犯、防火活動のネットワークづくりを支援します。

② 区民と区の密接な協働により地域福祉を充実します

子育て家庭や高齢者、障害者の支援など地域の課題に取り組んでいる区民が、より積極的に活動できるよう支援します。高齢者をはじめとした地域住民の相談と交流の場「街かどケアカフェ」など、区民や団体が気軽に集い、顔をあわせて交流できる拠点を整備します。こうした場として、平成28年度末に廃止する出張所の跡施設の活用を検討します。

また、体力測定会にあわせて高齢者と地域活動団体のマッチングを行う「はつらつシニアクラブ」や、地域福祉団体が運営する「相談情報ひろば」などを通じて、区民が積極的に活動できる場を拡充します。

③ 区民の力で地域を発展させる「ねりまビッグバン」を広げます

「ねりまビッグバン」は、まちを元気にするアイデアを区民が持ち寄り、参加者同士でアイデアを具体化する取組です。これまでに二つの地域で、「認知症を知ろう講演会」、「地域活動見本市」のアイデアが、話し合いの中から生まれ、実施されてきました。

今後も各地域で展開し、区民の力で地域を発展させる活動を広げていきます。

④ 地域活動に参加する「きっかけ」をつくります

「練馬E n (エン)カレッジ」では、「みどりの風吹くまちに あなたの〈力〉を」をテーマに、地域活動へのきっかけづくりや福祉、防災など分野ごとの人材育成事業を実施しています。すでに多くの方がここを足掛かりに地域活動に踏み出しています。

この機能をさらに充実するため、開講の場を拡大し、カリキュラムを多様化して、区民の選択の幅を広げます。

⑤ 組織の縦割りを超えて協働を推進する体制をつくります

区民参加と協働を推進する専管組織「協働推進課」を新設しました。全庁のコーディネーター役として、組織の枠を超え区民参加と協働を推進します。

協働推進課は、様々な地域活動の実情を区役所の関係部署につなぐなど、区民の皆さんの活動をフットワーク良く支援します。

協働推進課が運営する区民協働交流センターの相談機能を充実し、地域で活動する団体などからの相談を受け止めるワンストップ窓口とします。地域活動やボランティア、事業者の社会貢献活動に関する相談、活動に役立つ情報の受発信など、分野を問わず地域活動や協働に関する専門的な相談に対応できるようにします。

⑥ 区内事業者が一層活躍できる環境づくりを進めます

公共サービスの担い手として区内事業者がより参入しやすくなるよう、情報提供や相談を充実するとともに、事業者同士の連携、事業手法のスキルアップなどを支援します。